

令和4年12月21日
統合幕僚監部

(お知らせ)

中国海軍艦艇の動向について

海上自衛隊は、令和4年12月17日（土）から20日（火）にかけて、中国海軍クズネツォフ級空母「遼寧」（艦番号「16」）を含む複数の中国海軍艦艇が、以下のとおり太平洋上の海域において航行していることを確認した。

日時	位置	確認された艦艇
12月17日 （土） 午後8時頃	沖大東島の西南西 約260km	クズネツォフ級空母「遼寧」（16） レンハイ級ミサイル駆逐艦（104） ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦（120） ジャンカイⅡ級フリゲート（542） フユ級高速戦闘支援艦（901）
12月18日 （日） 午後8時頃	沖大東島の東南東 約350km	クズネツォフ級空母「遼寧」（16） ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦（120） ジャンカイⅡ級フリゲート（542） フユ級高速戦闘支援艦（901）
12月19日 （月） 午後8時頃	北大東島の東北東 約270km	クズネツォフ級空母「遼寧」（16） ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦（120） ジャンカイⅡ級フリゲート（542）
12月20日 （火） 午後8時頃	北大東島の東北東 約450km	クズネツォフ級空母「遼寧」（16） レンハイ級ミサイル駆逐艦（103） ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦（120）

※ 確認された艦艇欄の括弧書きは艦番号を示す。

また、当該期間に、中国海軍クズネツォフ級空母「遼寧」の艦載戦闘機によるもの約60回及び艦載ヘリによるもの約70回、計約130回の発着艦を確認した。

なお、中国海軍クズネツォフ級空母「遼寧」は、12月16日（金）に沖縄本島と宮古島（沖縄県）との間の海域を南下したものである。

防衛省・自衛隊は、海上自衛隊第8護衛隊所属「きりさめ」（佐世保）により、情報収集・警戒監視を行った。また、艦載戦闘機の発着艦に対し、航空自衛隊の戦闘機を緊急発進させる等を行い対応した。

クズネツォフ級空母「遼寧」(艦番号「16」)



クズネツォフ級空母「遼寧」搭載戦闘機 (J-15)



行 動 概 要



※ ①は12月17日（土）午後8時頃、②は18日（日）午後8時頃、③は19日（月）午後8時頃、④は20日（火）午後8時頃に中国海軍艦艇の航行を確認した位置。